

環境報告書2014

札幌大同印刷株式会社



札幌大同印刷株式会社
経営理念

私たちは 表現・言論・出版の自由を守り
印刷文化を通して 健全な社会の発展に貢献する

私たちは お客様の志向を十分に認識し喜ばれ
信頼される企業を創造する

私たちは 職業人としての誇りと自覚をもって
自己の能力を研鑽し発揮するよう努力する

私たちは 互いの人間性を尊重し
幸福の実現を目指す

トップメッセージ

札幌大同印刷は、2014年に創業60周年を迎えました。これも一重に、多くのステークホルダーの皆さまのご理解とご支援の賜物であります。

創業60周年の節目として行ったチャリティイベント「えほんいち」や「工場見学会」をはじめ、「感謝の手紙」などの記念事業においては、改めてお客さまやお取引先、地域社会の皆さまと札幌大同印刷とのつながりを実感するとともに、企業として出来ること、企業市民として出来ることを皆さまから学ばせていただき、経営理念である「印刷文化を通して、健全な社会の発展に貢献する」ことの大切さを改めて実感することとなり、皆さまには心より感謝申し上げます。

2014年1月には、自動現像機の廃液や排水を大幅に減らす廃液削減・排水リサイクル装置を導入、9月には老朽化していたオフセット印刷機を入れ替え、11月には作業効率や高品質向上を図るためにCTPを入れ替え、廃棄物や印刷用紙、電力などの環境面が大きく改善されました。ただし、オフセット印刷機で使用している有機溶剤の撤廃には至っておらず、引き続き課題として取り組んで参ります。

今後、20年、30年と将来世代へ胸を張って持続可能な社会となるよう将来へつなげて行くためには、私たちがどのように考え、行動し、実践していくかが決め手になります。そのためには社内外の多様な声に耳を傾け、コミュニケーションを図り、印刷文化を通し

て札幌大同印刷が培ってきた印刷技術や知識、経験をもとに、社会に貢献していくことが重要だと考えます。

札幌大同印刷は、北海道の企業として人も環境も豊かな持続可能な社会の実現に向けた取り組みを継続して参ります。今後とも、皆さまからの一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



札幌大同印刷株式会社
代表取締役社長

本間 翼

会社概要

- 商号 札幌大同印刷株式会社
- 創業 1954年8月10日（昭和29年）
- 代表取締役社長 本間 翼（ほんまたすく）
- 資本金 56,950,000円
- 従業員数 89名（2015年5月現在）

- 所在地
[厚別本社 / 制作室・製造部]
〒004-0003
札幌市厚別区厚別東3条2丁目1番1号
電話 011-897-9711（代表）
[豊平営業所 / 営業本部・企画室]
〒062-0905
札幌市豊平区豊平5条5丁目2番25号
電話 011-823-6115（代表）

- 事業概要
[商業印刷]
パンフレット／リーフレット／カタログ／チラシ／ポスター／メニュー／会社案内／社内報／報告書／雑誌／カレンダー 等
[デジタル関連]
Webデザイン／システム開発／データベース構築／プログラミング 等
[その他]
PR企画立案／マーケティング／ノベルティ／グッズ／DVD制作／屋内外広告看板／イベント事業の企画運営 等

報告書概要

- 環境報告書発行の目的
札幌大同印刷は、環境保全活動の情報を開示し、発信することが、私たちを支えていただく多くのステークホルダーと対話を行うために重要なコミュニケーションツールとして位置付け、報告するものです。

尚、限られた誌面の中で活動のすべてを掲載することは出来ませんが、私たちが取り組む等身大の活動報告として、ご理解をいただければ幸いです。

- 対象期間
2014年1月1日～12月31日
2014年度の活動を中心としましたが、一部の項目については過去及び現在継続中の物も含まれております。
- 対象範囲
札幌大同印刷株式会社における環境保全活動や実績を中心に掲載しています。



TOPICS-1 あなたのえほんがだれかのえほんに えほんとおもいをひとからひとへ

チャリティ えほんいち

紙を扱う企業として、現代の子どもたちにデジタル化した書籍では味わうことの出来ない、私たちが小さいころに触れた絵本の紙の質感や香りなど、紙が持つ魅力、絵本の魅力を再発見していただこうと、2014年8月10日サッポロファクトリーアトリウムにて「チャリティえほんいち」を開催しました。「チャリティえほんいち」は、家庭に眠っている絵本を皆さんからゆずっていただき、必要とされる方に安価で販売し、その売り上げを「札幌市さばーとほっと基金」を通し、子どもたちの健全育成を図る活動に役立てていただくという趣旨のもと、2,950冊をおゆずりいただきました。

当日のイベント会場では、えほんの販売の他に「えほんづくり体験教室」やえほんパフォーマーの岸田典さんによる「えほんの読みかせ」などを行い、約1,400人の方々にご来場いただき、総額225,000円を寄付することができました。絵本をおゆずりいただいた皆さま、ご来場していただいた皆さま、ご協力ご支援いただいた皆さまに、この場をお借りして、お礼を申し上げます。

TOPICS-2 印刷工場へ行ってみよう！

工場見学会

2014年7月26日厚別本社にて、地域のみなさまに、より一層札幌大同印刷を知っていただくこと。また、普段見ることの出来ない印刷工場を開放して、印刷物が完成するまでの工程を見学していただき、ものづくりを楽しく学びながら印刷に興味を持ってもらうこと。そして、見学会を通して地域社会とのつながりを深めようと、厚別本社周辺に在住される親子22名を対象に工場見学会を行いました。初めて見る大きな印刷や製本などの動く機械を見たり、印刷用インキを混ぜ合わせて色を作ってみたりなど、印刷会社ならではの体験をととても喜んでいただきました。

参加していただいた皆さまのアンケートから、「ものづくりを通して、物への愛着や大切さなど、子どものうちに見方が変わるような機会を与えていただきありがとうございました」など嬉しいご意見いただくことができました。また、見学会を開催するに当たって、部門を越えた団結力が高まり、若い力が育つ良い機会ともなりました。当日はあいにくの天気の中、工場見学会にご参加していただいた皆さまに、この場をお借りして、お礼を申し上げます。



TOPICS-3 オフセット印刷機の導入

老朽化していたオフセット印刷機1台を撤出し、新たに印刷機を1台導入しました。これにより刷版交換時間やカラー印刷の色合わせや見当合わせなどの準備にかかる時間の短縮により、電力使用量を抑えられています。

また、印刷準備段階で投入される予備紙や資材消費量の低減につながるるとともに、色の再現性など高品質な印刷物の安定した生産につながっています。



TOPICS-4 CTPの導入

CTP(Computer to Plate)とは、印刷用のデジタルデータを直接PS版(印刷用のアルミ版)に焼き付ける方式のこといい、この方式を用いたPS版の供給と排出を行う装置を導入しました。省電力構造とともに、スピードUPにより印刷機の稼働率アップに貢献。環境・品質・生産性ともにアップしました。

また、産業廃棄物として自動現像機から排出される廃液の削減装置と水洗水を再生し再利用する装置を導入。廃液は減圧蒸留方式により現像廃液を前年比47%削減。再生した水は自動現像機に戻して再利用するという、水のリサイクルフローが構築されました。

「札幌市生物多様性レポート」にて紹介されました

生物多様性を守るため、札幌市が平成24年度に策定した「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、温暖化と並ぶ深刻な地球環境問題となっている生物多様性を守るため、さまざまな取り組みが進められており、生物多様性に関する取り組みをまとめた「札幌市生物多様性レポート」が発行されました。その中で企業・団体の取組事例として、札幌大同印刷の取り組みが紹介されました。



環境方針 ENVIRONMENTAL POLICY

理念

私たちは、健全で美しい地球環境の保全を最重要課題のひとつととらえ、印刷及び印刷関連事業、マルチメディア事業の推進と、地球環境保全との調和に努め、地球に優しい事業活動を継続して実践し、豊かな自然環境を将来世代へ引き継ぎ、北海道の企業として快適な地域社会の実現に貢献します。

基本方針

1. 事業活動全般によって生じる環境への影響を認識し、環境目的・目標を定め、環境汚染の予防を含め、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 事業活動全般にかかわる環境関連の法律、規制、協定等を順守するとともに、自主基準を定めて管理し、環境リスクを回避します。
3. 環境保全のため、次の項目を環境管理における重点テーマとして取り組みます。
 - 1) 省資源・省エネルギーの推進
 - 2) 車両による排出ガスの管理と削減
 - 3) 製造過程で使用する有機溶剤などの管理と削減
 - 4) 廃棄物の管理と削減、リサイクル化
 - 5) 製品事故の削減
 - 6) 環境に配慮した資材、企画の提案とお客様サポート
 - 7) 環境情報の公開
 - 8) 地域社会への貢献
4. 環境方針を達成するため環境目的・目標を設定し、全事業所・全従業員をあげて環境管理を推進します。
5. 環境方針は札幌大同印刷で働く、または組織のために働くすべての人に周知し、環境保全の意識向上に努めます。また、利害関係者への周知により環境マネジメントシステムの理解と協力を要請すると共に一般の人にも開示し、入手可能とします。

制定 2003年 3月 1日

改訂 2009年 3月 1日

環境方針重点テーマの目標と実績

環境保全活動を推進するため、札幌大同印刷の環境方針に基づき重点テーマから目標を12項目に分け、事業活動すべてが地球環境とつながっていることを認識し、日々の活動の中で意識した行動に努めています。

2014年度 環境目的・目標の達成状況

札幌大同印刷の事業活動、製品やサービスに関わる環境に影響を与えると思われるあらゆる環境側面から、原材料の調達や製品の製造段階での環境負荷低減だけに取り組むのではなく、お客さまや地域住民とのコミュニケーションを大切に、企業市民として社会全体の環境負荷低減を目指し、独自の目標を立てて環境保全活動を行っています。2014年度は、8項目において目標を達成することが出来ましたが、4項目は未達成となりました。

※自己評価 ● 目標達成 ▲ 目標未達成

環境方針重点テーマ	環境保全活動目標	2014年度実績	評価
省資源・省エネルギーの推進 環境方針-3(1・2)	電力使用量の削減	クールビズ等を実施 使用量 前年度比94.1% 5.9%削減	●
	コピー用紙使用量の削減	校正の電子化・在庫管理の徹底を実施 使用量 前年度比109.2% 9.2%増加	▲
	印刷予備紙の削減	損紙等の再利用を実施	●
	エコドライブの推進	エコドライブの実施・低公害車の導入を実施	●
化学物質の管理 環境方針-3(3)	揮発性有機化合物(VOC)の削減	環境対応品調査検証を実施したが代替品の該当はありませんでした	▲
循環型社会形成の推進 環境方針-3(4・5)	廃棄物の管理・削減	リサイクル化の推進を継続 排出量 前年度比89.6% 10.4%削減	●
	製品事故の削減	工程毎チェックリストの添付・掲示・5S運動の徹底 発生件数 前年度比4件増加	▲
環境パートナーシップの推進 環境方針-3(6)	大同特色インキの提案	提案受注率71.9% 前年度比5.2%増加	●
	環境にやさしい紙の提案	提案受注率2.3% 前年度比1.9%減少	▲
	環境配慮型製品の提案・サポート	提案・サポートの継続	●
	環境情報の公開	環境報告書の発行・ホームページでの情報公開	●
	地域社会貢献活動	環境報告書展・キャンドルナイト・ごみ拾いなどに参加協力	●

[用語解説]

● 揮発性有機化合物 (VOC=Volatile Organic Compoundsの略語)
印刷機械の洗浄剤に含まれるトルエンなどの物質で、大気中の光化学反応により光化学スモッグを引き起こす原因物質の一つとされています。

● 環境ラベル系印刷用紙
再生紙使用マークやエコマークなど、印刷用紙に添付されたラベルで、製品やサービスが環境に配慮されたことを示す情報が表示された印刷用紙を指しています。

● 5S活動 (整理・整頓・清掃・清潔・躰)
整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字Sを取ったもの。表示での見える化などにより、無駄な作業や過剰在庫、紛失などがなくなり、安全で効率的な職場環境となる。

● 一般印刷用紙
はじめから木材を原料として製造したパルプから出来た印刷用紙を指しています。

● 損紙
印刷や製本作業中のさまざまな要因から、製品として使用できなくなった用紙のことで、別名やれともいう。

事業活動による環境データ

事業活動に必要な資源やエネルギー、それにとまなう廃棄や排出量など、さまざまな環境負荷のデータを集計して把握し、多岐に渡る環境影響を評価し、環境目的・目標に反映しています。

INPUT (投入) と OUTPUT (排出)

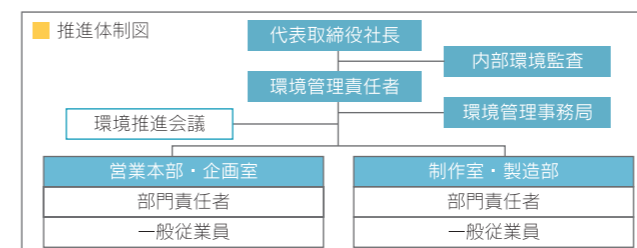
環境負荷の低減を図るためには、事業活動から生み出されるさまざまな環境影響を把握する必要があります。札幌大同印刷では、事業活動から環境に与える影響が多岐に渡ることから、有害・有益を問わず工程毎に物質のINPUT(投入)とOUTPUT(排出)による環境データを収集し、環境に影響しうる要素の評価を行い、次年度の環境目的・目標に反映しています。

INPUT (投入)	SAPPORO DAIDO (事業内容)	OUTPUT (排出)
エネルギー 電気 334,685 kw ガス 238.0 m ³ 灯油 6,612 L ガソリン 16,336 L 資材・原材料 印刷用紙 環境ラベル系印刷用紙 20.9 t 一般印刷用紙 629.1 t 合計 650.0 t 印刷インキ (植物油インキ) 7,049 kg コピー用紙 (A4換算) 348,125 枚 PS版 7,970 kg 製本針金 115 kg 化学物質 現像液 250 L 印刷溶剤 7,777 L トルエン 280.0 kg	営業本部 物品やサービス、情報、人などを結びつけます。 企画室・制作室 ■ 企画 お客様に合わせたコンセプトをまとめ、企画立案します。 ■ 制作・編集 コンセプトに沿ったビジュアルや文章などを駆使し、表現します。 ■ 製版 (出力) テキストや画像データなどを適切な印刷用のデータに変換します。 ■ 刷版 校了となった印刷用に変換されたデータを、印刷用の原版にします。 ■ Web ホームページやプログラムの企画制作をします。 製造部 ■ 印刷 印刷原版を印刷機に設置し、お客さまの要求を印刷で再現します。 ■ 製本・加工 刷り上がった印刷物を、断裁、折り、製本など、最終的な製品に仕上げます。 ■ 梱包・納品 完成した製品を、お客さまの指定する形に梱包し、期日までに指定の場所にお届けします。	二酸化炭素 (CO₂換算) 電気 119,483 kg ガス 523.0 kg 灯油 16,596 kg ガソリン 37,736 kg 合計 174,338 kg 廃棄物 一般廃棄物 36.49 m ³ 再生資源 (有価物) 古紙 183,510 kg アルミ版 7,700 kg 合計 191,480 kg 再生資源 (産業廃棄物) 金属くず 58 kg 廃アルカリ 2,717 kg 焼却・埋立 (産業廃棄物) 紙くず (再生不可) 10,270 kg 廃油 (インキ類) 3,318 kg 廃油 (機械洗浄油) 2,142 kg 合計 18,505 kg

環境マネジメント概要

■ 環境保全推進体制

環境マネジメントの運営を推進するためにPDCAサイクルを継続的にを行い、役割と権限を明確にし、環境管理事務局・各事業所の環境保全担当者と連携を図っています。



■ 法令等の順守

札幌大同印刷の事業活動、製品及びサービスにおいて、環境関連法規制や地域の条例・協定などを順守することはもとより、自主基準を設けて環境汚染の未然防止に努めています。2014年度において、環境関連法規制等に関する違反や指摘、指導などはありませんでした。

■ 環境教育

環境問題の基礎知識や自覚の向上を図るため、全従業員を対象に環境教育を実施しています。また、さまざまな環境問題への取り組みなどを掲示したり、環境保全に関する冊子などを配布するなど、継続的に啓発を行っています。

環境保全活動の概要

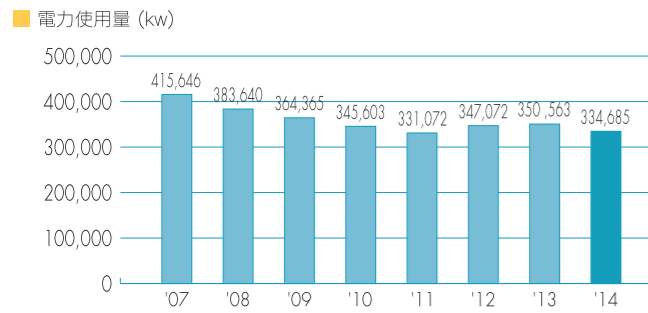
地球温暖化の防止や循環型社会形成の推進、環境汚染の予防、環境への配慮を考えた提案など、事業活動において私たちが継続して出来る環境保全対策に取り組んでいます。

省資源・省エネルギーの推進

■ 電力使用量の削減

パソコンで作成したデータを、従来の中間工程である版下や製版フィルムを撤廃し、刷版工程にて印刷機で使用するPS版にデータを直接焼き付けるCTPを導入。制作・出力・刷版まで作業工程時間を短縮し、製版用のカメラ、スキャナー、フィルム焼き付けプリンター、フィルム自動現像機などの機材設備が不要となり、資材及び電力、廃棄物を削減するとともに品質の安定にもつながっています。

また、日常の取り組みとして、クールビズの実施や本社工場の一部にLED蛍光灯の導入、省エネ型の印刷機械やCTPなどの導入により、2014年度は前年比から5.9%削減することができました。



■ エコドライブの推進

営業活動や当社メッセンジャーが使用する自動車からの二酸化炭素排出を抑制するため、待ち合わせや荷物の積み下ろしなどの駐停車時のアイドリングストップや冬場の暖機運転の時間短縮、不要な荷物を降ろして自動車を軽量化にするなどのエコドライブに努めています。

また、自動車の導入時には低排出ガス基準レベル認定自動車を選択するなどに取り組んでいます。

[用語解説]

■ CTP (Computer To Plateの略語)

パソコンで作成したデータを、中間工程である従来の製版フィルムに出力せず、コンピュータから直接印刷機で使用するPS版にレーザーで焼き付ける方法。

■ 低排出ガス基準レベル認定自動車

NOx(窒素酸化物)やPM(粒子状物質)など排出ガス低減に向け、国が定めた自動車の排出ガス基準に対応した低排出ガス車制度の認定を受けた自動車。

■ 製版

版下を専用のカメラでフィルムに撮影し、プリンターで反転しながら色毎に分版するなどして、印刷用の版を作る従来の方法。

■ 見当合わせ

表裏の位置や同一印刷面の各色がずれないように位置を合わせること。

■ 印刷予備紙の削減

印刷の準備段階にて、4色それぞれの版の見当を合わせたり、インキの濃度を合わせるなど、大量な印刷用紙が投入され、必要な枚数の他に予備の紙が必要となることから、印刷予備紙の低減に努めています。

印刷機械やCTPの導入により、印刷時の準備段階での機械性能や作業効率が向上し、印刷予備紙の削減につながっています。

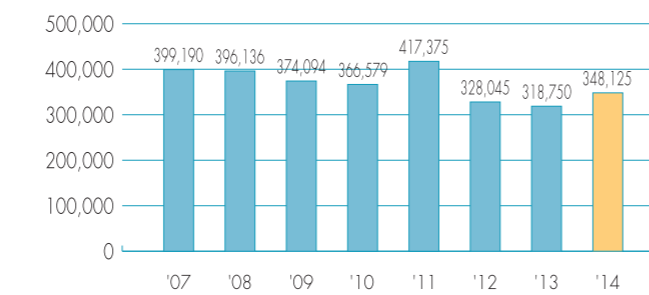


■ コピー用紙使用量の削減

コピー用紙は校正時に多く使われていることから、お客さまとの校正が文字だけなど簡単な確認の場合には、出来るだけPDFデータにし、メールでのやり取りを推奨しています。

また、コピー用紙の発注ラインを決めて表示し、在庫管理の見える化や製本工程時に発生する印刷用紙の断裁紙片を有効的に活用するなど日常の取り組みを行いました。2014年度は消費税引き上げによる影響も多く、前年比から9.2%増加しましたが、従業員の更なる意識の向上と削減に努めて参ります。

■ コピー用紙使用量 (A4換算/枚)



■ PS版 (Prsensitized Plateの略語)

紫外線により感光する感光層をアルミ板に塗布したもので、オフセット印刷の感材として使用される。

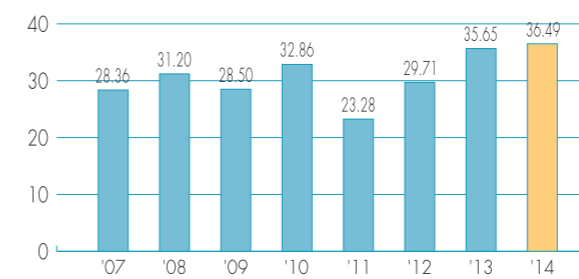
循環型社会形成の推進

■ 廃棄物の管理・削減

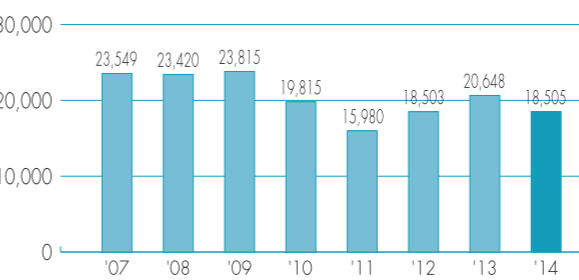
長く使えるものを購入時から考慮するなど、環境への負荷を低減するためにグリーン購入を推進しています。

また、事業活動で排出される産業廃棄物は前年比から10.4%削減いたしましたが、今後も適正に処分するために排出から処分までを自主的に期日を設定し、処分終了までの監視をマニフェスト管理票にて管理するとともに、継続して削減に努めていきます。

■ 一般廃棄物排出量 (m³)



■ 産業廃棄物排出量 (kg)



■ 製品事故の削減

製品事故は資源の再投入と廃棄物の増加を招くことから、印刷の代表的な誤字・脱字・汚れ・色ムラなどの事故発生を未然に防ぐため、作業チェックリストを作成して製品事故の予防対策を継続的に行っています。また、製造部では在庫の紛失などといった事故原因をなくすために5S活動の推進を図っています。製品事故が発生した場合には、速やかに原因の追及と対策を講じて全従業員に情報と改善策を共有し、再発の防止に努めました。前年比4件増加してしまいましたが、今後も5S活動などに取り組み製品事故の削減に努めます。

[用語解説]

■ マニフェスト管理票

産業廃棄物の収集・運搬、中間処理、最終処分などを委託する場合、排出者が委託者に対して適正な処理が行われたことを確認する管理票のこと。

■ カーボンオフセット

日常生活や経済活動によって排出された温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部または一部を他の場所での排出削減・吸収量で埋め合わせすること。

■ オフセット印刷

版からインキを直接ではなく、一度転写してからインキが移される印刷方式。特殊な物を除いて、現在の平板印刷はこのオフセット形式が主流である。

■ ライフサイクルアセスメント

(LCA=Life Cycle Assessment)
その製品に関する資源の採取から製造、輸送、使用、廃棄などすべての段階を通して環境影響を定量的、客観的に評価する手法。

化学物質の管理

■ 揮発性有機化合物(VOC)の削減

札幌市条例の規制対象となる、オフセット印刷機に付属するブランケット胴洗浄用溶剤に含まれる揮発性有機化合物(VOC)トルエンの使用量の把握や、作業手順に基づいた日常管理の徹底に努めています。また、環境対応品への転換を図るため代替品の検証に取り組みましたが、2014年度も代替品はなく、今後も調査・検証を継続し、適正な管理と排出量の削減に努めていきます。また、有機溶剤を扱う従業員の安全と健康を守るため、労働安全衛生法に則り、有機溶剤等の健康診断及び作業環境測定を実施し、健康障害の防止に努めています。

環境パートナーシップの推進

■ 環境に配慮した印刷物などの提案・サポート

無駄になるインキを極力減らすために、使用頻度の高い特色インキを選定した特色インキ専用見本帳を用意し、お客さまが特色をご希望する場合、出来るだけ見本帳の中からお選びいただく大同特色インキの提案を行い、2014年度は受注提案率71.9%で前年比5.2%増加しました。

環境にやさしい紙の提案では、ライフサイクルアセスメントの観点から、二酸化炭素の削減や廃棄物の増加などを抑制する「再生紙」や生態系を守るために管理された森林から産出された「森林認証」を受けた紙など、環境に配慮した紙の提案を行いました。2014年度は提案受注率2.3%で前年比0.9%低下しました。

またインキ・紙以外でも、印刷時に風力や太陽などで発電された電力を購入して印刷する「グリーン電力証書」や木質バイオマス燃料を使用することによって削減された二酸化炭素を、印刷時に排出される二酸化炭素とオフセットする「みんなでカーボンオフセット」制度、

使用することで二酸化炭素削減事業や東日本被災地復興を応援する「震災復興型カーボンオフセット用紙」など、環境に配慮した提案及びサポートをお客さまに行っています。



■ ブランケット胴

オフセット印刷機の胴のうち、印刷圧を生むゴムブランケットを巻いた中間胴の事。版胴上の画像は一度このブランケット胴に転移され、さらに紙に再転移されます。

環境コミュニケーション

社会の一市民として、地域社会に根ざした活動をコミュニケーションを通じて応援するとともに、経営理念に掲げる「印刷文化を通して 健全な社会の発展に貢献」してまいります。



■ ラブアース・クリーンアップ in 北海道

私たちの北海道を私たちの手で、世界一きれいな場所にする、全道一斉ごみ拾いのムーブメント。地球の環境を大切にすることを「ごみ拾い」という、誰でも参加できる身近な行動で表現し、より良い北海道の環境を未来につなげて行こうという呼びかけに賛同して毎年参加しています。

6月の環境月間に合わせ、厚別本社は6月5日に、豊平営業所は6月10日に総勢60名が参加して会社周辺のごみ拾いをしました。初めて参加した新入社員からは「人通りとごみの量は比例していた」「想像以上のごみの量に驚いた」などの感想もあり、身近な環境問題への意識啓発にもつながっています。

主催：NPO法人北海道市民環境ネットワーク A-1~5

■ 環境啓発印刷物の配布

札幌大同印刷の本社正面玄関にて、地域社会や環境などの問題に取り組む市民団体や行政などのパンフレットや、イベント・セミナーなどの告知を紹介するなど、社内外に啓発をしています。

主催：札幌大同印刷株式会社 B-1

■ さっぽろキャンドルナイト

2014年6月21日夏至の日。1年中で一番昼が長い夏至の日の夜8時から10時までの2時間、「電気を消してスローな夜を過ごそう」と、札幌市内で行われるさまざまな取り組みを「広く市民に知らせる」ということで、「世界に誇れる環境文化都市さっぽろ」の実現を目指そうという呼びかけに賛同して毎年参加しています。

札幌大同印刷では、従業員に残業抑制を呼びかけるとともに、お客さまやお取引先、従業員の家族などにキャンドルやパンフレットを配布し、参加を呼びかけました。

毎年、さっぽろキャンドルナイトに参加することで従業員はもちろん、札幌大同印刷に関わる人たちへの啓発にもつながり、省エネだけではなく、さまざまな環境や社会の問題を考え、楽しく行動するきっかけとなっています。

主催：さっぽろキャンドルナイト実行委員会 C-1,2



■ 第8回環境科学展

2014年10月25日(土)26日(日)の2日間、札幌市青少年科学館で環境問題や保護に関する団体や企業の取り組みを紹介しながら、環境について楽しく学ぶ環境イベントが開催され参加しました。イベントでは、当社の環境報告書や印刷の端の余った部分の紙をメモ帳にして配布したり、子どもたちには当社オリジナルの「どうぶつめりえ」や「ビビットマン」のダイジェスト版めりえで動物たちに自由に色をつけてもらいました。

主催：札幌市青少年科学館 D-1~5

■ 札幌市円山動物園応援グッズ

未来を担う子どもたちが、地球のことや動物たちの未来のことを楽しく考えるきっかけづくりとして、シロクマやレッサーパンダなど、円山動物園にいる動物たちをモデルにした「どうぶつめりえ」「ZOONOTE」を、札幌市円山動物園公認グッズとして制作販売し、収益金の一部を動物たちの食べ物代として札幌市円山動物園に寄付しています。

主催：札幌大同印刷株式会社 E-1

■ 環境報告書展

事業者と社会を結ぶ環境コミュニケーションの重要なツールである環境報告書などを収集し、市民などに広く公開して取り組みを知ってもらおうと、2014年1月24日~28日の間、札幌市地下歩行空間「憩いの広場」で環境報告書展が開催され、札幌大同印刷の環境報告書を展示・配布しました。

1月29日~2月3日には、札幌エルプラザに移動し、「コミュニケーションが進める環境保全」企画の一つとして、生物多様性に関するパネルなどとともに展示・配布しました。

主催：札幌市環境局 札幌市エルプラザ F-1,2

■ 割り箸リサイクル活動

使い終わった割り箸が紙の原料に生まれ変わることから、社内で使用済みの割り箸を回収しています。この活動により少しでも社内のごみが減るとともに、資源を大切に意識付けにもつながり、リサイクル活動にも役立てられています。

回収先：王子エフテックス株式会社 江別工場 G-1

環境に配慮した印刷物の実績例

再生紙など環境に配慮された紙や震災復興型カーボンオフセット用紙などの使用や、印刷時の電力を二酸化炭素を排出しない風力やバイオマスなど自然エネルギーから発電されたグリーン電力で行うなど、環境に配慮して作られた印刷物の一例をご紹介します。



- 札幌市アカシア若者活動センター 様
HELLO WINTER! 星空ナイト2014 Tomoshibi -1
- 環境省北海道環境パートナーシップオフィス 様
シンポジウム オホーツクの自然を活かした地域づくり -2
- NPO法人北海道グリーンファンド 様
知ってよかった 電力全面自動化セミナー -3
省エネルギーフォーラム「知ってよかった！」見本市 -4
市民エネルギー情報センター機能構築にむけた北海道型低炭素ライフ普及活動報告書2013-2014 -5
- 札幌市環境局 様
札幌市生物多様性レポート -6
- 株式会社札幌ドーム 様
CSRレポート2014 -7
- 一般財団法人さっぽろ健康スポーツ財団 様
Health & スポーツ Life -8
- 北広島環境市民の会 様
生ごみリサイクルハンドブック 生ごみは資源だ!! -9
埋め立てるごみを減らそう -10
- さっぽろキャンドルナイト実行委員会 様
さっぽろキャンドルナイト2014年広報物 -11・12・13

安全で安心な社会と職場を目指して

情報管理の徹底を図り、付加価値の高い製品・サービスの提供に努め、従業員の能力が発揮できる職場環境づくり、人が輝ける会社づくりを目指していきます。

個人情報保護への取り組み

札幌大同印刷は、事業活動を行う上で、お客さまの安心の提供及び社会の信頼に応えることが企業の社会的使命と考え、「個人情報保護方針」を定め、2006年よりプライバシーマークを認証取得しています。
お客さまからお預かりする個人情報を適切に扱うため、事業所毎に管理体制を整え、個人情報を台帳で管理し、情報の内容や形態に応じた対策を図り、想定されるリスクに応じた管理を行っています。また、内部監査を実施し、2事業所毎に個人情報の取り扱い状況の確認と改善を行うとともに、全従業員への教育を実施しています。
2014年度において、個人情報の漏洩事故はありませんでした。

札幌大同印刷「個人情報保護方針」については、下記ホームページにてご覧いただけます。
■ 札幌大同印刷プライバシーポリシー
www.dioce.co.jp/daido/privacy.html

事故・災害などの緊急事態対応

地震などの自然災害や火災、薬品・灯油の流出など、各事業所で起こりうる事故緊急事態を想定して対応手順を定め、教育や訓練を実施しています。
万一発生した場合には、手順に沿った行動に移すとともに、原因の究明や予防対策を見直し、事故の再発防止に努めます。

ハラスメントへの取り組み

職場における様々なハラスメントは、労働者個人の尊厳を不当に傷つけ、能力の有効な発揮を妨げ、会社にとっても職場の秩序や仕事の遂行を阻害し、社会的評価に大きく影響を与える問題です。
札幌大同印刷は、職場でのハラスメントを「起こさない、起こさせない」ためにも、男女雇用機会均等法および札幌市男女共同参画推進条例に基づき、「職場のセクシュアルハラスメントの防止」を制定するとともに、社員一人ひとりがパワーハラスメントなどに関する正しい知識と理解で快適な職場環境をつくるために、全従業員を対象に教育を行っています。また、一人で問題を抱えることのないよう従業員のプライバシーを守り、微妙な場合も含め広く相談に対応するために事業所毎に相談窓口を設けて対応し、従業員が働きやすい職場環境づくりを目指しています。



札幌大同印刷株式会社 「環境報告書2014」

- 本報告書の仕様
本報告書は、環境への負荷軽減を図るため、小ロット印刷に適したオンデマンド印刷を採用することで、印刷時の電力使用量と印刷用紙を抑制しました。また、報告書用にあらかじめ印刷用紙を発注するのではなく、事業活動の中で余ってしまった印刷用紙を使用し、リデュース=廃棄物の発生抑制に努めました。また、より多くの人が見やすいように、色づかいなどに配慮したデザインを心掛けて作成しました。
- 本報告書に関するお問い合わせ
札幌大同印刷株式会社 厚別本社 環境管理事務局
〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条2丁目
TEL 011-897-9711 FAX 011-897-9715
□ ホームページ
<http://www.dioce.co.jp>
□ 環境情報 Ecology Report
<http://www.dioce.co.jp/daido/iso/>
- 表紙デザイン・イラスト
後藤 真希恵 エディトリアルデザイナー / イラストレーター